

2003年6月9日

各 位

ハイブリッドカーの導入について

中外製薬株式会社 [本社：東京都中央区 / 社長：永山 治] (以下、中外製薬) は、環境保護活動の一環として、2003年6月より「ハイブリッドカー」を11車両、営業活動用として導入したことをお知らせいたします。

近年、地球環境は様々な汚染により自浄能力を失いつつあります。特に地球温暖化による砂漠化、有害物質の拡散による健康被害の増大等の問題が注目されています。また、このような環境問題に対して、京都議定書の運用ルールの策定など地球規模で協調した取り組みが行われています。

中外製薬では、こうした環境保全に対する基本姿勢について、経営理念であるミッション・ステートメントの価値観の項で「地球環境に配慮します」と言明するとともに、具体的な行動基準である中外BCG (中外ビジネス・コンダクト・ガイドライン) では、『事業活動のすべての分野において「中外環境憲章」に基づき地球環境保全のために最善を尽くす』、社員一人ひとりの積極的行動を促しています。

導入する車両は、国土交通省が定めた基準を上回る「超 - 低排出ガス」認定車である、本田技研工業株式会社が発売する「シビック ハイブリッド」で、札幌支店、仙台支店管轄を除く全国11の支店で医薬情報担当者が営業活動に使用することになります。

以上